

パーパス：存在意義

すべての子どもたちが、
自分の将来や夢を語れる
地域をつくる。

ビジョン：目指す姿

- ・「ここに居て良いんだ」という安心感
 - ・「ここに居なきゃ」という使命感
 - ・「ここに居たい」という強い意志
- 誰もが自律的に動き出せる居場所であり続ける。

ミッション：使 命

- ・子ども達が自分らしく夢を語れるよう、見守り、寄り添い、諭す。
- ・子どもたちが「**誰かの役に立つ幸せ**」を感じながら働けるよう、地域で活躍できる機会を提供する。
- ・大人もまた、子育てを通じて成長し、変化を受け入れ、多様な交流の機会を創出する。



おりば概要

対 象 者 ; 中学校卒業（15歳）から成人（18歳）までの

「働きたい人」「頑張りたい人」「目標を見つけない人」

※不登校児や、ひきこもり、ヤングケアラー等への支援可能※

- ✓ 障害の有無は問わないが、働く意思があることが前提。
- ✓ 健康で、就労に支障が無いこと。（障害への配慮は別途相談）
- ✓ 保護者の同意が得られること。（保護者への説明はこちらで対応します）

利用方法 ; ①自宅から通所（おりばの最寄り駅まで自力で通ってこれること）

②自立援助ホームから通所

※②自立援助ホームは2027年開所予定

利用料金 ; ①通所の場合 月謝10万円（最寄り駅からの送迎、昼食代、学習費用等）

②自立援助ホームから通所の場合は月額3万円

利用期間は基本的に18歳までの最大3年間、成人後は自立できることを想定

おりばコンセプト

テーマ：ともに働く（働きたいと願う全ての人が活躍できる地域をつくる）

ターゲット：働きたいけどなかなか就職できない人、就職しても長続きしない人、
就職するために何をすれば良いか、どこに相談すれば良いか分からない人

ターゲットのニーズ：自分を必要としてくれる場所で働きたい

家族のニーズ：働いてもらいたい、自立して欲しい、将来の不安から解放されたい

内容・手法：多機能型農園

(1)就労支援専門員が率いる支援チーム（おりば指導員）が就労のために必要なスキルを伝え、
働く意味と、働くために必要最低限の国語と算数を学ぶ

(2)社会人と同じ仕事（農業）をしながらコミュニケーションスキルを学ぶ

(3)農作物を販売することで、労働対価を得ることを学ぶ

最終ゴールイメージ：地域の大人が地域の子どもを育て、地域の企業が納税者を生み出す

おりばコンセプト

義務教育を卒業（15歳）から成人（18歳）の、制度の狭間に居る子どもたちに働く意味を伝え、成人の時、社会人として巣立てるように支援する

18歳

働 く

18歳（成人）から65歳（定年）
まで納税者として地域に貢献する

65歳定年



65歳からおりば農園で次世代を育成する

育てる

定年退職後も「自分にできること」で社会の役に立ちたい人
まだ働く理由がある人
次世代育成に興味がある人

障害者や精神疾患等で働き辛さ、生き辛さを抱えている人が
社会人として奮起する場所としても。

おりば収支イメージ

2025年度末見込み（事業が軌道に乗ったと仮定）

育成支援拠点 6月開始、多機能型農園 6月開始（出荷は12月から）

収入/年 目安	計算方法	金額目安/年
科目①育成支援拠点月謝 定員20名	100,000円/月× 定員20名として	20,000,000円/10ヶ月と仮定
科目②農作物売上	収穫時期と収穫見込み合計 2026年は1.5倍になる見込み	5,750,000円/農地3ヶ所合計
科目③労働局助成金 (特定求職者雇用開発助成金)	対象者13名	3,500,000円/合計
科目④雑所得	拠点貸出家賃収入（8月以降 月額60,000円）など	1,500,000円/10ヶ月と仮定

支出/年	考え方	金額目安/年
科目①運転資金	人件費 光熱費、仕入れ等	22,000,000円 /10ヶ月と仮定
科目②設備投資	リフォーム、社有車購入費用 備品購入他	8,000,000円

おりば理事/提携先/相談役/支援者について

理事長；堅田 海采

- ・ 企業在籍型職場適応援助者
- ・ 両立支援コーディネーター
- ・ 雇用環境整備士(Ⅱ種)
- ・ 障害者職業生活相談員
- ・ 山口県障害者相談援助事業
就労アドバイザー
※合同会社alias 代表
※untiled事業主

理事；匿名

- ・ 企業在籍型職場適応援助者
- ・ 発達障害児支援士
- ・ JADP上級心理カウンセラー
- ・ 心理専門相談員
- ・ 中学校教諭免許

理事；匿名

※匿名自動車板金塗装 代表

<実習受入先、地域連携・相談役>

理事；匿名

※社会保険労務士法人匿名代表

- ・ 社会保険労務士
- ・ 社会福祉士

【提携先】

就労相談全般 untiled(アンタイトル)

就労相談全般 匿名

特定非営利活動法人 匿名

特定非営利活動法人 匿名

特定非営利活動法人 匿名

有限会社 匿名（福祉事業部）

おりば利用中のかかりつけ医

匿名医院（小児科）

他 専門医、県内企業/商店等

おりばへの入所/通所について

【入所】 山口県岩国市

- 定員 6名(心身ともに男子)
- 支援員 4名
- 費用負担無し(保護者対応は別途)

2027年開所予定

日中は、
おりばの通所に通えるようになると良い。
同じ時間に起きて、同じ活動をします。
※学校を目指す等、
日中も学習の必要がある場合は別途相談。
(学習指導員の指示に従う)

【通所】 山口県岩国市

- 定員 20名(性別問わず)
- 指導員
就労指導員/生活指導員/相談員/看護師/教師など、
就職するために必要なスキルを身に着けるための
指導員多数
- 費用負担
□ 月謝 10万円
※最寄り駅からの送迎付

おりば（通所）の活動について ①

- ▶ 安全・安心な居場所の提供（ここに居て良い、ここに居たいと思う場所）
- ▶ 生活習慣の形成（将来「働いて生きていく」ための就労準備）
- ▶ 学習支援（就労するために最低限必要な学習、学校へ行きたい子の学習）
- ▶ 食事の提供（基本的には昼食のみ→朝・夕が不安な子には弁当を持たせる）
- ▶ 課外活動の提供（**農業**、就業実習、提携福祉事業所での作業実習、他作業有）
- ▶ 学校、医療機関、地域団体等との関係構築（untiledが支援）
- ▶ 保護者への情報提供、相談支援（untiledが支援）
- ▶ 送迎支援（岩徳線米川駅までの送迎、課外活動への送迎）

※岩徳線に乗るお金がない子へは、翌日来る分だけの電車賃を補填

ここに居て良いんだよという安心感

ここなら自由に夢を語って良いんだよという信頼感

その夢をどう叶えるかの相談支援

おりば（通所）の活動について ②

1. 9 : 00 開所（送迎にて集合）
2. 集合～10 : 00 朝礼
（タイムカード打刻、体調チェック、10分学習、当日のスケジュール確認）
3. 10 : 00～12 : 00 農業（庭の畑/専門員による農業指導）
4. 12 : 00～13 : 00 お昼休み（昼食）
5. 13 : 00～16 : 00 農業班と実務班に分かれ、
＜農業班は庭の畑作業続行、実務班は送迎で現場へ＞
6. 17 : 00～ 終礼（当日あったことの周知、明日の準備、タイムカード打刻）
7. 17 : 30閉所（送迎にて解散）

- ※ 作業をする中で起きた困りごと、帰宅してからの不安、悩み等については、閉所時間後に個別対応し、その日のモヤモヤをそのままにしない。
個人面談終了後に送迎にて帰宅させる。
夕食や入浴等に不安がある場合には、夕食/入浴後に送迎。（基本的に宿泊は不可）
- ※ 基本的には土日祝日はお休み（来たい人は来ても良い）

おりば（通所）の活動について ③

- 卒業後の進路
 - 1.近隣企業
(手帳がある人は障害者雇用枠で採用、手帳がない人は担い手不足の企業の採用基準を中卒可にしてもらえるだけの技能を習得した後の就労とする)
 - 2.近隣福祉事業所（手帳がある人）
 - 3.農業（近隣の農家や農業法人 等）
 - 4.学校（総合支援学校、専門学校、高等学校、職業訓練校 等）
 - 5.グループ会社alias（就労移行支援事業所）利用
- 卒業後の住居
 - 1.企業の独身寮
 - 2.生活困窮者自立支援アパート（プライムと連携）
 - 3.近隣福祉事業所のグループホーム（キセキと連携）
 - 4.賃貸住宅契約（不動産業と連携）
 - 5.県内グループホーム（連携先あり）

～次の行先を確定してから巣立つ～